

2023年度 事業計画

公益財団法人 佐倉国際交流基金

2023年度 事業計画

I. 事業方針

1. 事業運営においてコロナ感染防止対策を講じ、通常体制への移行を準備する。
2. 地域における多文化共生の促進に寄与する事業運営を目指す。
3. 運営委員会を活性化し、各事業間の連携を強め、佐倉国際交流基金の特徴を生かした事業としてゆく。

II. 事業計画

1. 国際相互理解推進事業〔公益目的事業 1〕

1) 佐倉市国際文化大学通常講座（5月～11月実施予定）

- ・目的 国際理解の促進を図り、国際交流活動に積極的に参加し、多文化共生社会に理解のある人材の育成を目指す。
- ・内容 国際的な視野を広げるため、国際情勢や国内外の政治・経済・文化を各分野の専門家の講師とともに学ぶ市民大学で、講義は年22回（内3回は公開講座、1回は自主ゼミ発表会）ある。公開講座は、一般市民も参加可能で、佐倉市との共催を予定している。
- ・対象 佐倉市民等（佐倉市内だけでなく、市外の方への参加もはたらきかける）
- ・募集 こうほう佐倉、佐倉よみうり、SIEF HP、チラシ等による広告
- ・場所 佐倉中央公民館、志津コミュニティセンター等の公共施設など
- ・受講生 定員100名 応募多数の場合は公開抽選会により決定
- ・受講料 年額 25,000円

2) 佐倉国際スピーチコンテスト（10月22日(日)実施予定）佐倉市共催を予定する。

- ・目的 少年、少女はもとより、成人においても英語によるコミュニケーション能力の向上を期し「自分の考えを解りやすく相手に伝える」機会を提供。多文化共生や国際交流への関心を高める。
- ・対象 「小学生以下」「中学生」「高校生～シニア」とし参加希望者の拡大を図る。発表者の特徴を称賛するような賞を設ける。発表とともに英語交流の楽しさを実感してもらう。
- ・募集 こうほう佐倉、SIEF 作成のチラシ等による広告

- ・場所 ミレニアムセンター佐倉（予定）
- ・参加者 全体で45名程度
- ・参加費用 無料

3) イングリッシュサロン

- ・目的 英語によるコミュニケーションを体験することにより、英語力向上のきっかけを得るだけでなく、体験活動を通じて、多文化共生と国際交流感覚を醸成する。
- ・対象 原則として佐倉市民（ある程度英語が話せる成人が対象 英検3級以上程度が望ましい）
- ・募集 こうほう佐倉、SIEF HP等による広告
- ・場所 中央公民館
- ・開催日時とクラス数
中央公民館の研修室3を利用して講座を実施予定。

第4水曜日： 9：30～18：20の間で5クラス

第4金曜日： 13：30～18：20の間で3クラス

毎月合計8クラス、クラスごとに年間10回開催、

各クラス11名。

- ・参加者 定員88名（運営委員枠も含まれる）
- ・参加費用
月1回参加者は、8,500円（年間）（賛助会員7,500円）
月2回参加者は、17,000円（賛助会員16,000円）
- ・内容 2名の外国人をファシリテーター（進行役）として、日常の話題を英語を使って自由にコミュニケーションする。正しい英語の勉強というよりは、自分の考えを英語で伝えることに重きを置いている。

2. 国際交流活動支援事業〔応募申請型〕〔公益目的事業 2〕

国際交流親善・多文化共生の促進に寄与すると判断される団体・グループ等の活動を支援するため、SIEFの助成金制度〔助成金交付に関する要綱〕にもとづく助成を行う。

○講座は、一人1,000円、合計で15,000円以内

○申請金額の上限は4万円。

○1団体1件の申請とする。

- ・募集 こうほう佐倉（3月1日発行）・基金レターズ・ホームページ（一般公開）等を通じて広報する。

- ・助成の対象事業期間

2023年度（2023年4月～2024年3月）中に着手・実施される事業

3. 外国人支援事業〔佐倉市国際化推進事業受託〕〔公益目的事業 3〕

1) 外国人のための日本語講座

- ・目的 日本語の日常会話力（入門・初級・中級）の涵養、日本人とコミュニケーションする場の提供、外国人の児童・生徒の日本語補習など。
- ・対象 原則として佐倉市内に住む外国人
- ・募集 佐倉市役所および公民館などの公共施設にスペイン・英・中・などの言語にて募集要項を置くほか、佐倉市の発行する HELLO SAKURA・HOLA SAKURA・你好佐倉などの外国人向け広報紙にても周知する。
また、SIEF のホームページでも日本語講座の様子、募集要項、応募要領を掲示する。
- ・場所 志津コミュニティセンター〔3クラス〕ミレニアムセンター佐倉〔2クラス〕中央公民館〔4クラス〕
小中学生向けクラスは、千代田・染井野ふれあいセンター〔1クラス〕志津公民館〔1クラス〕・根郷公民館〔1クラス〕
- ・参加費用 受講料・・・無料 教材費・・・1,000円/学期（原則 成人クラスのみ）
- ・内容 教員経験者、日本語講師有資格者、市民ボランティアによる取り組み
成人クラスは、木曜日〔3クラス〕、金曜日〔1クラス〕
日曜日〔4クラス〕および土曜日〔1クラス〕の運営。
木曜日の2クラス(午後)には、ベビーシッター制度があり、講座の間に幼児の面倒をみる。
第1学期〔4～7月〕第2学期〔8～12月〕第3学期〔1～3月〕の3学期制
11月26日(日)に「日本語講座のつどい」（講座受講外国人の発表と交流の場）を実施予定。
- ・運営体制
運営委員会を組織し各曜日担当者によるクラス運営で進める。
個人学習、集団学習の特徴や、学習者のレベル、希望に合わせて運営。
- ・新規講座
小中学高生向けクラスは、千代田・染井野ふれあいセンター、志津公民館に続き、第3教室を2022年度より根郷地区に開設した。
アフガニスタン出身の学習者が増え、定員を上回る場合は待機リストに登録している。

2) 外国人のための生活相談

- ・目的 外国人の日常生活・医療・保険・日本語の勉強・住居・子ども・法律
その他、外国人が困っていること、不安に思っていることなどについて
個別相談を受け、佐倉市が多文化共生社会として外国人に住みやすい町
になるよう外国人支援を行う。

・電話相談

- (1)相談日 平日の月曜日から金曜日
- (2)時間 10時から16時
- (3)対応言語 スペイン語、英語、中国語、および日本語
- (4)場所 指定なし
- (5)予約 予約は不要
- (6)相談料 無料

・面談

- (1)相談日 毎火曜日および毎木曜日
- (2)時間 10時から16時
- (3)対応言語 スペイン語、英語、中国語、および日本語
- (4)場所 原則 SIEF 事務所
- (5)予約 前日までに要予約
- (6)相談料 無料

*ただし、相談日や時間外でも、可能ならば相談員や事務局が、電話相談、
面談に対応する。

・支援活動

電話相談、面談の状況によっては、あるいは行政などの依頼を受けて、相談
員と登録ボランティアが行政や他の外国人支援団体などと協力して、外国人
に対する直接支援活動を実施することができる。

とくに2022年度からウクライナ避難民支援の業務を進め、生活に必要な
情報、パンフレット、日本語支援体制などを整備している。

「広報さくら」毎月1日号および15日号から記事を選択、編集、
佐倉市の査読を経て、やさしい日本語による「佐倉市のお知らせ」を
毎月15日に発行する。

4. その他 附帯事業

1) 情報提供の適正化を図る。

- ・「基金レターズ」およびホームページを通して、賛助会員ほか広く市民に事業活動の実施状況をお知らせする。
- ・ホームページは、リニューアルし、使いやすい、親しみのある内容に改善を進めてきた。2023年度も、よりタイムリーに情報を提供する。
- ・法令に定められた事項の情報公開を SIEF ホームページで実施する。
- ・公益法人として必要な情報（公告）の事務局備置を実施する。
- ・ガバナンスを適正に、また維持継続のため事業進捗状況、予算執行状況を、6月から12月までの各月、理事、評議員、運営委員長、および佐倉市に報告する。

2) ボランティア募集の推進と活動の活性化に努力する。

外国人への支援活動は欠かすことのできない重要な課題である。ベトナムやミャンマーなどに加え、近年はアフガニスタン出身者の増加が著しい。これまでの外国語に加え、アジア、中近東の言語についても対応できるように進めてゆきたい。そのためにも国際交流団体や行政との協力体制をより強化する。

以 上